

# PHILIPS



フィリップス ドッキングスピーカー

品番 **AS140**

**取扱説明書**

**保証書付**

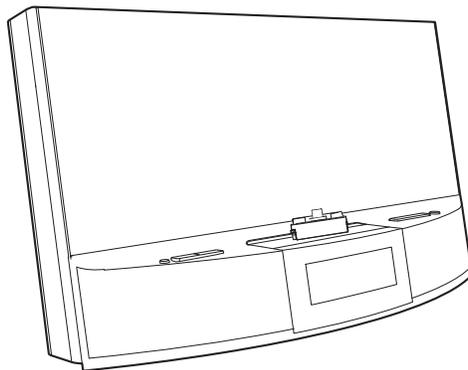
保証書は、この取扱説明書の最終ページについておりますので販売店で記入を受けてください。

フィリップス ドッキングスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。長い間で愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

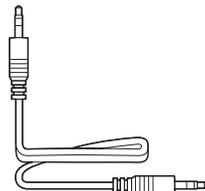
また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 商品のご確認

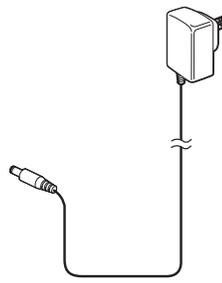
商品をご確認ください



本体



オーディオケーブル



電源アダプタ



追加コネクタ

※改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

## 目次

●はじめに	商品のご確認 ..... 1
	目次 ..... 2
	必ずお守りください ..... 3~5
	接続できるスマートフォン ..... 6
	各部の名称 ..... 7-8
●ご使用方法	電源の入れ方／音量の調節 ..... 9
	本体の準備 ..... 10
	スマートフォンの接続／取り外し
	スマートフォンの充電の仕方 ..... 11-12
	スマートフォンを使って音楽を聴く ..... 13
	外部機器を使って音楽を聴く ..... 14
	アラームを使う ..... 15-16
	ラジオを聴く ..... 17
	故障かな?と思ったら ..... 18-19
●保証	保証とアフターサービス ..... 20
	仕様 ..... 21
	無料修理規定 ..... 22
	保証書 ..... 最終ページ

## 必ずお守り ください

### 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」とに区別しています。

#### ○絵表示について



記号は、「危険、警告、注意」を示します。  
図の中や近くに具体的な注意内容を示します。



**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



**注意** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

#### ○絵表示の例



・記号は、してはいけない「禁止」を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。



・記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)を示します。



### スマートフォン/その他外部機器との接続時のご注意

誤った取扱いをすると、スマートフォン/その他外部機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず事前にバックアップをしてください。

本製品を使用したことによるデータの破損または消失について、いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。また、他社の機器に対する保証や修理も一切行っておりません。あらかじめご了承ください。



### 警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントから電源アダプタを抜く。

そのまま使用すると、事故の原因になります。必ず使用を中止し、お買い上げの販売店または小泉成器修理センターにご相談ください。



本製品の内部に金属物や燃えやすいものを入れない。

事故や故障の原因となります。



分解・修理・改造をしない。

事故や故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器修理センターに修理をご依頼ください。



水の近くで使用しない、水にぬらさない。

本製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。事故や故障の原因となります。

 警告

- |  |   |
|--|---|
|  <p>雷が鳴ったら本体や電源プラグ部に触らない。<br/>感電の原因となります。</p>   |  <p>電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。<br/>感電・ショート・発火の原因となります。</p>                     |
|  <p>ぬれた手で電源プラグ部の抜き差しをしない。<br/>感電の原因となります。</p>   |  <p>電源プラグ部のほこりや汚れを取る。<br/>ほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。電源プラグ部を抜き、やわらかい乾いた布でふいてください。</p>      |
|  <p>電源アダプタの破損に注意する。<br/>電源アダプタを傷付けたり、電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。</p> |  <p>長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグ部を抜く。<br/>長期間通電した状態で保管したり放置すると、絶縁劣化や漏電などにより火災の原因となります。</p> |
|  <p>電源プラグ部は確実に差し込む。<br/>差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因となります。</p>  |  <p>自動車など乗り物の運転中は使用しない。<br/>運転の妨げになり事故の原因となります。</p>                                  |

 注意

- |   |  |
|---|--|
|  <p>置く場所に注意する。<br/>油煙や湯気が当たる場所に置かない。温度が高くなる場所や、熱を発生する機器のそばに置かない。直射日光の当たる高温の自動車内に置かない。湿度やほこりの多い場所に置かない。事故や故障の原因となります。</p> |  <p>本体の上に物を載せない。<br/>重量で外装が変形したり破損するなど、故障の原因となることがあります。また、載せた物が落下したり倒れたりし、事故や故障の原因となることがあります。</p> |
|  <p>不安定な場所の上に置かない。<br/>ぐらつく台や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。</p>                                     |  <p>お手入れは、やわらかい乾いた布でふく。<br/>水や液体洗剤、シンナー、ベンジンなどを使わないでください。</p>                                     |

## 大音量で使用しない

### 「適切な音量」に設定する。

「音」は感覚的なものなので、あてになりません。時間とともに、聴覚の「快適なレベル」は大音量に順応してしまいます。長時間聴いていると「普通」だと思っている音が、聴覚にとっては大音量で害のあるものになっている可能性があります。これを防ぐため、下記のように聴覚が大音量に順応する前に音量を安全なレベルに設定してください。

## 「適切な音量」の設定方法

- 1 音量を最小に設定してください。(P.9「音量の調節」の項をお読みください。)
- 2 音がゆがみなくはっきりと快適に聞こえるまで「ゆっくりと」音量を上げてください。
- 3 耳が疲れない程度の適度な音量と使用時間で聴いてください。



### 注意

- 一般的に「安全な」音量であっても、長時間・長期にわたって音を聴き続けた場合、聴力障害を引き起こすことがあります。
- 本製品は適度に使用し、長時間連続で使用せず、必ず休憩を取るようにはしてください。
- 聴覚が順応するままに、音量を上げないよう気をつけてください。
- 周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げないでください。

マイクロUSBコネクタを持つ以下の  
Android搭載スマートフォンに対応して  
います。(2011年10月現在)

接続できる  
スマートフォン

スマートフォンのOS	Android 2.1以降
Bluetoothのバージョン	2.1以降
コネクタの種類	マイクロUSBコネクタ

- 「Android」「Androidマーケット」は、Google Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。



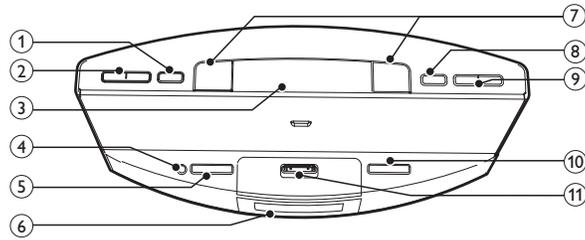
#### 注意

- 対応以外のスマートフォンを本製品に接続しないでください。本製品で対応していないスマートフォンの動作は保証していません。
- 対応しているスマートフォンでも、ソフトウェアのバージョンが古い場合は本製品で操作できないことがあります。その場合はソフトウェアのバージョンアップを行ってください。
- スマートフォン本体の操作方法やソフトウェアのバージョンアップ方法は各製品に付属している説明書などをお読みください。
- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。

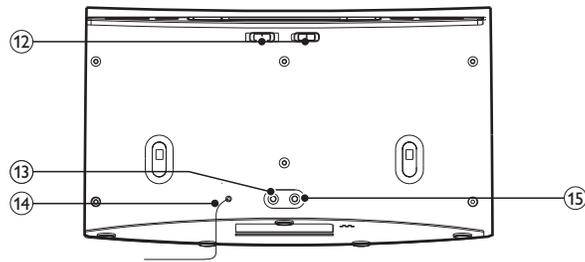
# 各部の名称

## 本体

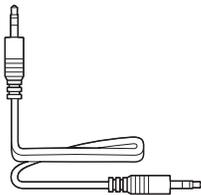
上面



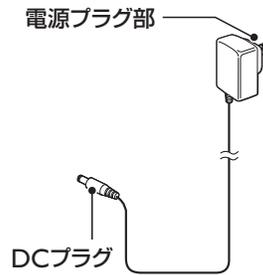
背面



## オーディオケーブル



## 電源アダプタ



① SET TIME/PROGボタン

- ・時刻を設定します。
- ・FMラジオ局を設定する時に使用します。

② PRESET ▲/▼ ボタン

- ・設定したラジオ局を選択する時に使います。
- ・時刻の設定時に「時」の調節に使います。
- ・12時間表示と24時間表示の切り替えに使用します。

③ SNOOZE/BRIGHTNESSボタン

- ・アラームタイマーの延長に使います。
- ・表示パネルの明るさを4段階で切り替えられます。

④ ON/OFFスイッチ

- ・本体の電源を入れる時や、スタンバイモードに切り替える時に使用します。

⑤ SOURCEボタン

- ・音源を選択する時に使用します。音源は、Bluetooth、MP3 link (外部機器)、FMラジオの順に切り替えられます。

⑥ 表示パネル

- ・日時や選択されている音源、アラームの設定・使用時など、本体の状態を表示します。

⑦ AL1/AL2ボタン

- ・アラームタイマーを設定する時に使用します。
- ・アラーム設定を表示します。
- ・アラームタイマーのON/OFFの時に使用します。

⑧ SLEEPボタン

- ・スリープタイマーを設定する時に使用します。

⑨ TUNING ◀◀/▶▶ ボタン

- ・FMラジオの周波数を合わせる時に使用します。
- ・時刻の設定時に「分」の調節に使います。
- ・Bluetooth接続での再生時は、前後の曲にスキップします。

⑩ VOLUME+/-ボタン

- ・「VOLUME+」ボタンで音量が大きくなり、「VOLUME-」ボタンで音量が小さくなります。

⑪ Dockコネクタ端子

- ・Android搭載スマートフォンを接続する端子です。

⑫ AL1/AL2設定用RADIO・BUZZ・DOCK切り替えスイッチ

- ・アラームタイマーの音源を切り替えるスイッチです。音源は、RADIO (FMラジオ)、BUZZ (ブザー)、DOCK (Dock接続) で切り替えられ、AL1とAL2それぞれで設定できます。

⑬ MP3 LINK端子

- ・付属のオーディオケーブルを差し込み、外部機器を使って音楽を聴くことができます。

⑭ FM アンテナケーブル

- ・FMラジオの受信感度が悪い場合、ケーブルの位置を調整してください。

⑮ DC IN端子

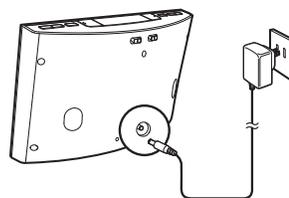
- ・電源アダプタのDCプラグを差し込む端子です。

## 電源の入れ方

### コンセントにつなげる

海外(100~240V)でのご使用も可能です。ただし、コンセントの形状や電圧など現地で充分お確かめのうえご使用ください。

- 1 電源アダプタのDCプラグを本体のDC IN端子につないで、ご家庭のコンセントに電源プラグ部を差し込みます。
- 2 コンセントにつなげると、スタンバイモードになります。



#### 注意

- 長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグ部を抜いてください。
- コンセントから抜く時は、電源プラグ部を持って引き抜いてください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。

### スタンバイモードへの切り替えと解除

- 1 スタンバイモードに切り替えるには、本体のON/OFFスイッチを押します。表示パネルに数秒間「OFF」と表示されます。  
※時刻設定前のスタンバイモードは、表示パネルに「- : -」が点滅します。設定後のスタンバイモードは、表示パネルに時刻が表示されます。
- 2 スタンバイモードを解除するには、本体のON/OFFスイッチを押します。スタンバイモードを解除すると、最後に選択した音源に切り替わります。  
※本体のSOURCEボタンを押した場合もスタンバイモードを解除できます。

## 音量の調節

- ・再生中に本体のVOL+/-ボタンを押し、「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。
- ・「VOL-」ボタンを押し続けると音量が下がり続け、無音になった時に本体の表示パネルに「L00」と表示されます。
- ・「VOL+」ボタンを押し続けると音量が上がって続け、最大音量になった時に本体の表示パネルに「L32」と表示されます。



#### 注意

- 音量の上げすぎにはご注意ください。  
(P5「適切な音量」の設定方法」の項をお読みください。)

## 本体の準備

### 時刻を設定する

スマートフォンをDockに接続すると、数秒後に自動的に時刻を同期します。  
※機種により同期しない場合があります。

また、下記のように手動で設定することもできます。

- 1 ON/OFFスイッチを押して、スタンバイモードにします。  
※時刻設定前のスタンバイモードは、表示パネルに「--:--」が点滅します。設定後のスタンバイモードは、表示パネルに時刻が表示されます。
- 2 SET TIMEボタンを約2秒間押すと時刻表示が点滅します。
- 3 ▲/▼ボタンを押して「時」を調整します。
- 4 ◀▶ボタンを押して「分」を調整します。
- 5 SET TIMEボタンを押して確定すると、表示パネルに[12H]または[24H]の文字が点滅します。
- 6 ▲/▼ボタンを押すと、12時間表示と24時間表示を切り替われます。
- 7 SET TIMEボタンを押して確定すると、表示パネルに設定した時刻が表示されます。

#### 時刻設定の流れ

スタンバイモード

↓ SET TIMEボタン約2秒

「時」調整

↓ ▲/▼ボタン

「分」調整

↓ ◀▶ボタン

「時、分」確定

↓ SET TIMEボタン

「12時間/24時間」  
表示切り替え

↓ ▲/▼ボタン

「12時間/24時間」  
表示確定

↓ SET TIMEボタン

設定完了



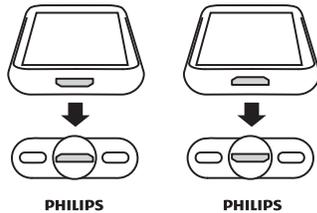
#### 注意

- スマートフォンを同期した場合、スマートフォン側の時刻と同じように表示されます。
- 電源プラグを5分以上コンセントから抜くと、本体の時刻をリセットできます。

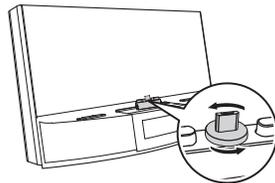
## スマートフォンの 接続／取り外し

### スマートフォンを接続する

- 1 接続の前に、スマートフォンのマイクロUSBコネクタと、本製品のDockコネクタ端子の向きが合っているかを確認してください。



- 2 Dockコネクタ端子の向きが合っていない場合は、Dockコネクタ端子を180度回転させて向きを合わせます。



#### マイクロUSBコネクタが本体の端にあるスマートフォンの場合

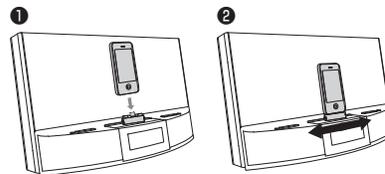
マイクロUSBコネクタが本体の端にある機種は、接続する際に不安定になります。付属の「追加コネクタ」をDockコネクタ端子にかぶせることで、より安定させることができます。



追加コネクタ

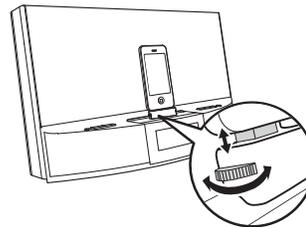
- 3 Dockコネクタ端子に、スマートフォンのマイクロUSBコネクタを差し込み(①)、スマートフォンが本製品の中央にくるように調整します(②)。

※無理な力を加えず角度を合わせてまっすぐに差し込んでください。角度が合っていない状態で無理に差し込むと故障の原因となります。



- 4 Dockコネクタ端子の両脇にある高さ調整ツマミを回し、本製品とスマートフォンがしっかりとフィットするように調整します。

※スマートフォンによっては、マイクロUSBコネクタまわりの形状が左右で異なる場合があります。そのため、本製品では左右それぞれの高さを調整することで、フィット感を高めることができます。

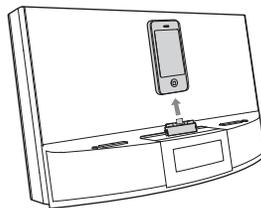


#### 注意

- 必ず向きを確認してから接続し、Dockコネクタ端子に無理な力を加えないでください。故障の原因となります。
- スマートフォンの接続はゆっくりと行ってください。

## スマートフォンを取り外す

スマートフォンを上引き抜きます。



**注意**

- スマートフォンの取り外しはゆっくりと行ってください。
- 長時間使用しない場合は、スマートフォンを本製品から取り外してください。

## スマートフォンの 充電の仕方

- 1 電源を入れた状態(P.9「電源の入れ方」)でスマートフォンを本体に接続すると、充電を開始します。
- 2 充電完了後、スマートフォンを長時間使用しない場合は、スマートフォンを本体から取り外してください。

## スマートフォンを使って音楽を聴く



### 注意

- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、対応機種であれば基本的な音楽再生の利用には支障ありません。
- スマートフォン本体の操作方法などは各製品に付属している説明書などを、お読みください。

### 対応機種

- ・スマートフォンのOS : Android 2.1以降
- ・Bluetoothのバージョン : 2.1以降
- ・コネクタの種類 : マイクロUSBコネクタ

### Bluetoothで接続する

- 1 本製品の電源をオンにしスマートフォンのBluetoothをオンにします。  
「設定→無線とネットワーク→Bluetoothをオンにする→端末のスキャン」を行い、本製品 (AS140) の名前をタップし、接続します。
- 2 スマートフォンでご使用の音楽再生プレーヤーから音楽を流すことができます。  
※Bluetooth設定で音楽再生が可能ですが、Fidelioアプリをインストールすると、天気予報、イコライザ、アラーム等をお楽しみいただけます。  
※Fidelioアプリをお使いになる際は、無料アプリSongbirdのインストールが必要です。

付属のオーディオケーブルを使ってスマートフォン以外の外部機器を接続することができます。

## 外部機器を使って音楽を聴く



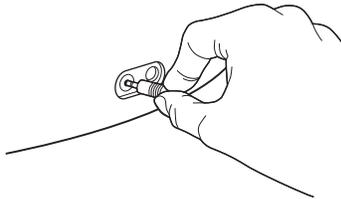
### 注意

- 音量は、接続する外部機器に左右されます。出力の大きい外部機器に接続すると音量が大きく、出力の小さい外部機器に接続すると音量が小さくなります。使用する外部機器の出力に応じて、適切な音量に調節してください。
- 外部機器の出力によっては、大音量が出ることがあります。接続する前に、あらかじめ外部機器の音量は小さくしてください。

#### [接続できる外部機器]

- ・3.5mmステレオミニプラグの出力端子を持つ製品  
(デジタルオーディオプレイヤー、テレビ、パソコンなど)

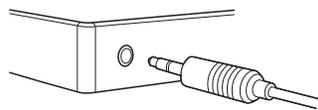
- 1 接続する外部機器の音量をあらかじめ小さくしておきます。
- 2 本製品のMP3 LINK端子に、付属のオーディオケーブルを差し込みます。
- 3 オーディオケーブルのもう一方を、接続する外部機器の出力端子に差し込みます。
- 4 表示パネルに  マークが表示されるまで本体のSOURCEボタンを数回押し、MP3 LINKモードに切り替えます。
- 5 接続した外部機器の再生を開始し、外部機器と本製品の音量を調節します。



#### [外部機器を取り外す]

外部機器の再生を停止し、電源を切ってからオーディオケーブルを取り外します。

- 3 オーディオケーブルのもう一方を、接続する外部機器の出力端子に差し込みます。



## アラームを使う

AL1とAL2に、それぞれ異なるアラーム  
タイマーを設定できます。



### 注意

- アラームの使用前に、時刻が正しく設定されていることを確認してください。  
(P.10「時刻を設定する」)

### アラームタイマーを設定する

- 1 本体の、AL1ボタンまたはAL2ボタンを約2秒押し続けると、表示パネルの時刻が点滅します。  
※以下、AL1の設定を例に説明します。
- 2 ▲/▼ボタンを押して、「時」を設定します。
- 3 ◀▶/▶▶ボタンを押して、「分」を設定します。
- 4 AL1ボタンを押して確定します。
- 5 AL1側のRADIO・BUZZ・DOCK切り替えスイッチで、設定したい音源を選びます。「RADIO」は直前に聞いたラジオ局、「BUZZ」は本体内蔵のブザー音が再生されます。

#### アラームタイマー 設定の流れ

スタンバイモード

↓ AL1/AL2ボタン約2秒

「時」設定

↓ ▲/▼ボタン

「分」設定

↓ ◀▶/▶▶ボタン

「時、分」確定

↓ AL1/AL2ボタン

音源の設定

↓ RADIO・BUZZ・DOCK  
切り替えスイッチ

設定完了

※ALボタンは、はじめに約2秒押した  
「AL1」か「AL2」のいずれかが、そ  
の後の確定ボタンとなります。

## アラームタイマーの起動、停止、繰り返し、アラーム音の停止、確認

### 【アラームタイマーのON/OFF】

- アラームタイマーONの時は  1または  2と表示されます。
- ON/OFFを切り替えるには、表示パネルの  1または  2が消えるまで、AL1ボタンまたはAL2ボタンを数回押します。

### 【アラーム設定の確認】

- AL1ボタンまたはAL2ボタンを押すと、アラーム設定の内容が表示パネルに表示されます。

### 【アラームタイマーの繰り返し(TUNER、BUZZのみ)】

- アラーム音が鳴っている時、SNOOZEボタンを押すと、9分後にアラーム音を繰り返します。

### 【アラーム音の停止】

- アラーム音が鳴っている時、ON/OFFスイッチを押すと、アラーム音が停止します。
- ※アラーム音は停止しますが、設定はそのままなので、また設定した時間になるとアラームが鳴ります。

## ラジオを聴く



### 注意

- 本製品はFMラジオのみ受信できます。
- 本体とアンテナは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。
- 受信状態を最良にするために、アンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。
- 電源が約5分以上切断されると記憶した下記の設定は初期設定に戻ります。

### ラジオ局の周波数を合わせる

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、音源をFMラジオに切り替えます。
- 2 ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを2秒以上押し、指を離すと電波の強いラジオ局に自動的に周波数を合わせます。
- 3 上記を繰り返し、他のラジオ局の周波数を合わせるができます。  
※ ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを1回押すと、周波数を0.1kHz単位で調整できます。

### 自動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、音源をFMラジオに切り替えます。
- 2 PROGボタンを2秒以上押しと自動的に受信感度の高いラジオ局のみ保存することができます。

### 手動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

※上記、自動でラジオ局を設定した場合も含めて、最大20となります。

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、音源をFMラジオに切り替えます。
- 2 設定したいラジオ局に周波数を合わせます。
- 3 PROGボタンを押し、▲ ボタンまたは ▼ ボタンで設定したいプログラムの番号を選びます。
- 4 PROGボタンを押して確定すると、プログラムに受信中のラジオ局が設定されます。  
※プログラムしたラジオ局を上書きするには、上記「4」で上書きしたいプログラムの番号を選び、そこに他のラジオ局を設定します。

### 設定したラジオ局を受信する

▲ ボタンまたは ▼ ボタンを押し、設定したラジオ局を選択します。

故障かな?と思ったら、お調べください。

## 故障かな? と思ったら

### 電源が入らない

- ▶ **電源プラグはきちんと差し込まれていますか?**  
電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれていますか?確認してください。
- ▶ **コンセントが通電していますか?**  
コンセントが通電しているか確認してください。
- ▶ **電源コードが断線していませんか?**  
新しい電源アダプタをお買い求めください。

### 本体からの反応がない

- ▶ **本体の電源を入れなおしてください。**  
電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

### ラジオの受信感度が悪い

- ▶ **近くに電磁波を発する製品がありませんか?**  
本体とアンテナは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。
- ▶ **アンテナの伸ばし方を調節してください。**  
受信状態を最良にするために、アンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。
- ▶ **ラジオ局の聴取エリア外ではないですか?**  
ラジオ局の聴取エリアをご確認ください。

### アラームタイマーが作動しない

- ▶ **時刻は正しく設定されていますか?**  
時刻を正しく設定してください。P.10「本体の準備」の項をお読みください。
- ▶ **アラームタイマーが停止していませんか?**  
アラームタイマーを起動してください。P.15「アラームを使う」の項をお読みください。

### 時刻やアラームタイマーの設定が消えた

- ▶ **電源が切断されていませんか?**  
電源が切断されていないか、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。

## 時刻が正しくない／時刻がズれる

### ▶スマートフォンの時刻設定は正しいですか？

本製品はスマートフォンの時刻設定と同期するため、スマートフォンの時刻が正しくない場合は、同じように表示されます。正しい時刻にするには、スマートフォンの時刻を設定するか、もしくは手動で設定してください(P10「本体の準備」)。

### ▶時刻の同期をやり直してください。

コンセントから電源プラグ部を抜き、通電していない状態で5分以上経つと時刻設定がリセットされます。リセットした後に再度スマートフォンを接続し、同期してください。

## 音が聞こえない

### ▶電源が入っていますか？

電源プラグがきちんと差し込まれているか、コンセントが通電しているか確認してください。

### ▶音量が最小になっていませんか？

本体またはリモコンのVOL+/−ボタンで調節してください。

### 【スマートフォンを使って聴く場合】

#### ▶スマートフォンが正しく接続されていますか？

スマートフォンが本体のDockコネクタ端子にきちんと差し込まれているか確認してください。

#### ▶スマートフォンに正しいデータが入っていますか？

スマートフォンで再生可能な正しいデータが入っているか確認してください。  
正しいデータ形式やデータの入れ方は、各製品に付属している説明書などをお読みください。

### 【外部機器を使って聴く場合】

#### ▶オーディオケーブルが正しく接続されていますか？

オーディオケーブルが外部機器と本製品の両方にきちんと差し込まれているか確認してください。

#### ▶外部機器から音声が出力されていますか？

外部機器から音声が出力されていないと、本製品から音が出ません。  
外部機器の音声出力の方法は、各製品に付属している説明書などをお読みください。

#### ▶外部機器の音量が最小になっていませんか？

外部機器の音量を調節してください。

以上の点検により、正常な状態に戻らない場合は、  
お買い求めの販売店かフィリップスサポートセンターにお問い合わせ願います。

保証書と修理サービスについて  
(必ずお読みください)

## 保証と アフターサービス

### 〈保証書・最終ページに付属〉

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保管してください。

保証 期間	お買い上げ日から1年間
----------	-------------

### 【補修用性能部品の最低保有期間】

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 【ご不明な点や修理に関するご相談は】

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

### 【修理を依頼されるときは】

- 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検ください。尚、異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店へご依頼ください。

### 【保証期間中は】

- 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

### 【保証期間が過ぎているときは】

- 修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 【海外での本製品の保証及びアフターサービスについて】

- 本製品の保証は海外においても有効です。
- 日本国以外のフィリップスサービス部門においても保証期間内及び保証期間の経過後のアフターサービスを受けることができますが、この場合多少日数を要することもあります。
- 海外にてアフターサービスを受けられる場合は、現地のフィリップスサービス部門にお問い合わせください。尚、お困りの点がございましたら下記までご連絡ください。

Philips Consumer Lifestyle Service Department P.O.Box 20100 9200 CA DRACHTEN  
The Netherlands Fax:+31 51 259 2785

### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

- お受けましたお客様の個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

便利メモ

お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店名	TEL. ( )
--------	-------	---------	----------

ご使用の時、このような症状はありませんか？

- 本体にさわると時々電気を感じる。
- こげくさい臭いがする。
- 電源コード部を動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから外して、必ず販売店にご相談ください。



仕 様

品 番	AS140
電 源 方 式	交流式
消 費 電 力	35W
定 格 電 圧	AC100-240V (50/60Hz)
本 体 質 量	約1.4kg
サ イ ズ	290(W)×113(D)×160(H) mm
定 格 出 力	2×5W
S N R	55dB

- フィリップス製品の修理受付はお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 修理サービス等についてわかりにならないことは、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター  
support.japan@philips.com

0120-336-634

ホームページアドレス <http://www.philips.co.jp/>

フィリップス コンシューマー ライフスタイル事業部

日本販売代理店 小泉成器株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

## 無料修理規定

### 〈無料修理規定〉

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理します。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。なお、商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。
- 3.ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
- 4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ② お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
- ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ④ 一般家庭以外(例えば、業務用の長時間使用)に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑤ 保証書の提示がない場合。
- ⑥ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或は字句を書き換えられた場合。

※保証書は、本書に明示した条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の保証とアフターサービスの項目をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。また個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

フィリップス ドッキングスピーカー 保証書 持込修理

CERTIFICATE OF PURCHASE

この保証書は、「無料修理規定」記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

品名	ドッキングスピーカー
品番	AS140
保証期間	お買い上げ日より1年
対象部分	本体
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	ご芳名
	電話番号
★販売店	販売店名・住所・電話番号

- ★ 保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ★ ご販売店様へ この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター 0120-336-634  
support.japan@philips.com

対応時間：平日10:00~18:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

- 東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
- 西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号

日本販売代理店 小泉成器株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7 TEL: 06-6262-3561

この印刷物は再生紙を使用しております。

100% recycled paper 

3140.035.2800.1